

国土交通大臣政務官
築 和 生 様

国の施策等に関する 提案・要望書

(平成29年12月)

鳥取県自治体代表者会議
鳥取県地方分権推進連盟

鳥	取	県	知	事	平	井	伸	治
鳥	取	県	議	会	稲	田	寿	久
鳥	取	県	市	長	深	澤	義	彦
鳥	取	県	市	議	坂	井		徹
鳥	取	県	町	村	森	安		保
鳥	取	県	町	村	川	上		守

第30回全国「みどりの愛護」のつどい開催について

《提案・要望の内容》

○地域の緑化に尽力されている活動団体を顕彰するとともに、県内の様々な緑に関する取組を広く全国に発信するため、全国の緑の関係者が一堂に集う「全国『みどりの愛護』のつどい」を平成31年度に「鳥取県立布勢総合運動公園（鳥取市布勢）」において開催すること。

【開催要望の背景・目的】

- ・本県では、「全国都市緑化とっとりフェア(平成25年度)」の開催を契機に高まった都市緑化推進の機運を継承し、鳥取ならではの美しい魅力的な緑のまちづくりが市民運動として展開されるよう、緑化の普及啓発、人材育成等を推進している。
- ・「全国『みどりの愛護』のつどい」を山陰自動車道「鳥取西道路」の開通や鳥取市政130周年等の記念事業として位置づけ、県内の様々な緑に関する取組を広く全国に発信するとともに、地域の緑化に尽力されている活動団体を顕彰することで、緑のまちづくり活動の更なる推進につなげる。

【第30回全国「みどりの愛護」のつどい概要（案）】

- 1 主 催 第30回全国「みどりの愛護」のつどい実行委員会
(国土交通省、鳥取県、鳥取市)
- 2 後 援 全国知事会、全国市長会、全国町村会
- 3 開 催 日 平成31年度の「みどりの月間（4月15日から5月14日まで）」のうち1日
- 4 会 場 鳥取県立布勢総合運動公園(鳥取市布勢)
- 5 行 事 内 容 ・式典
・「みどりの愛護」功労者表彰
・記念植樹 等
- 6 行 事 参 加 者 約1,500名(予定)
全国みどりの愛護団体関係者、緑化関係団体
公園・河川・道路に係る協会等関係団体
関係機関職員、その他

式典会場候補地（鳥取県立布勢総合運動公園）の位置



式典会場候補地の航空写真



日本海国土軸を形成する高速鉄道網の整備について

《提案・要望の内容》

- 日本海国土軸の形成やリダンダンシー確保の観点から、新幹線の空白地帯である山陰地域における新幹線の整備に向けて、全国新幹線鉄道整備法の基本計画路線で止まっている山陰地方の新幹線について整備計画路線への格上げを図ること。
- 国家戦略的観点から、東京一極集中を是正し、地方の人口減少に歯止めをかけ日本全体の活力を上げる必要があることから、地方での新幹線整備については国主体で整備するとともに、並行在来線の経営分離方針の見直しを検討すること。
- また、2020年東京オリンピック・パラリンピック開催を契機に、国内外から観光誘客を積極的に行うためには、JRを含む在来線の高速化が重要であることから、特に線形が悪い因美線及び伯備線の線形改良に向けた国の助成制度の創設等を行うこと。

＜参考＞

1 全国新幹線鉄道網の整備状況（H29年12月）

全国新幹線鉄道整備法は1970年に制定され、以来約47年経過しているにもかかわらず、当時告示された基本計画路線19路線のうち山陰新幹線を含む11路線については、着工はもとより調査・計画の目途さえ立っていないのが現状である。



2 山陰地方の新幹線の早期実現への動き

- ・H27年5月29日 「山陰縦貫・超高速鉄道整備推進市町村会議」において、山陰新幹線の整備計画への格上げに必要なB/Cを1.09と算定(大阪を起点として福知山・豊岡・鳥取・松江・下関・福岡に至るルート)
- ・H28年6月27日 鳥取市議会において「山陰新幹線の早期実現に向け北陸新幹線小浜舞鶴京都ルート選定を求める決議」を採択
- ・H28年7月30日 「山陰新幹線の早期実現と北陸新幹線京都府北部ルートの決定を求める決起大会」を鳥取市で開催
- ・H28年10月26日 同決起大会を東京で開催
- ・H29年4月1日～8月31日 日本青年会議所(JC)中国地区協議会が山陰道・山陰新幹線早期実現に向けて署名運動
→H29年11月21日、石井国土交通大臣宛に7万人余りの署名簿を提出
- ・H30年2月11日 松江市で「山陰縦貫・超高速鉄道整備推進市町村会議」決起大会を開催予定

3 伯備線の高速化・快適化に向けた動き

- ・H28年11月29日 島根・鳥取県経済同友会合同懇談会において、京都大学大学院教授で内閣官房参与藤井聡教授による伯備線の新幹線化についての講演会を開催
- ・H29年10月25日 岡山・鳥取県両経済同友会合同懇談会においても同教授による講演会を開催
- ・H29年10月5日 JR伯備線高速化・新幹線化促進三県議会議員協議会がJR西日本を訪問し、「特急やくも」の新型車両の早期導入を要望

国際航空路線の拡充に伴う受入環境整備について

《提案・要望の内容》

○米子鬼太郎空港では、近年急増している外国人旅客の更なる誘客対策を強化するため、「訪日誘客支援空港」の認定をとり、旅客の空港受入環境高度化のための施設整備を平成30年度から予定しているが、当該施設整備に係る必要な予算額を確保すること。

〔※米子鬼太郎空港では国際線の利用者増加により手狭となった空港の施設整備を計画中。
 (①搭乗橋の新設、②国際線搭乗待合室の拡張、③手荷物受取所・税関検査場拡張)〕

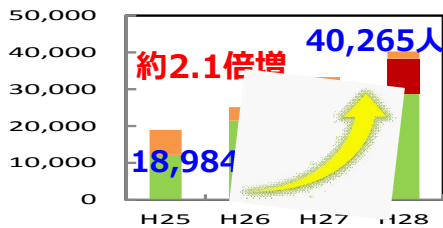
○搭乗橋の新設にあたって必要となる固定橋の新設は、搭乗橋を設置するために不可欠な施設整備であり、搭乗橋と同様に補助対象として認めること。

〔※米子鬼太郎空港は近年、国際便が大幅に増えている一方、航空自衛隊米保基地との共用空港であるため離発着時間に制約があり、更なる路線誘致のためには搭乗橋を新設する必要があるが、これに接続する固定橋は、体の不自由な方の乗降など、バリアフリーや安全確保の観点から、一体的な施設整備が必要。〕

<参考>

1 米子鬼太郎空港における国際線外国人旅客の急増

米子鬼太郎空港ではエアソウルのソウル便（週5便 195席 28年10月就航 29年12月2便増便）と香港航空の香港便（週2便 174席 28年9月就航）が定期運航中。併せて国際チャーター便も運航していることから外国人旅客が急増し、空港施設が手狭となっており、施設整備が急務。



国際線外国人旅客数の推移 (H25~H28)

■ ソウル定期便外客
 ■ 香港定期便外客
 ■ 国際チャーター便外客

【最近の就航状況】

- ・H28. 9 香港定期便就航 (174席、週2往復)
- ・H28. 10 エアソウルによる韓国定期便就航 (195席、週3往復)
- ・H29. 10 韓国チャーター (195席) 4往復
- ・H29. 11 ベトナムチャーター (175席) 2往復
- ・H29. 11 台湾チャーター (160席) 3往復
- ・H29. 12. 23~H30. 3. 24 韓国定期便 (195席) 週5往復へ増便

2 米子鬼太郎空港の施設整備予定 (主なもの)

緑部分…補助対象施設、赤部分…今回要望施設

